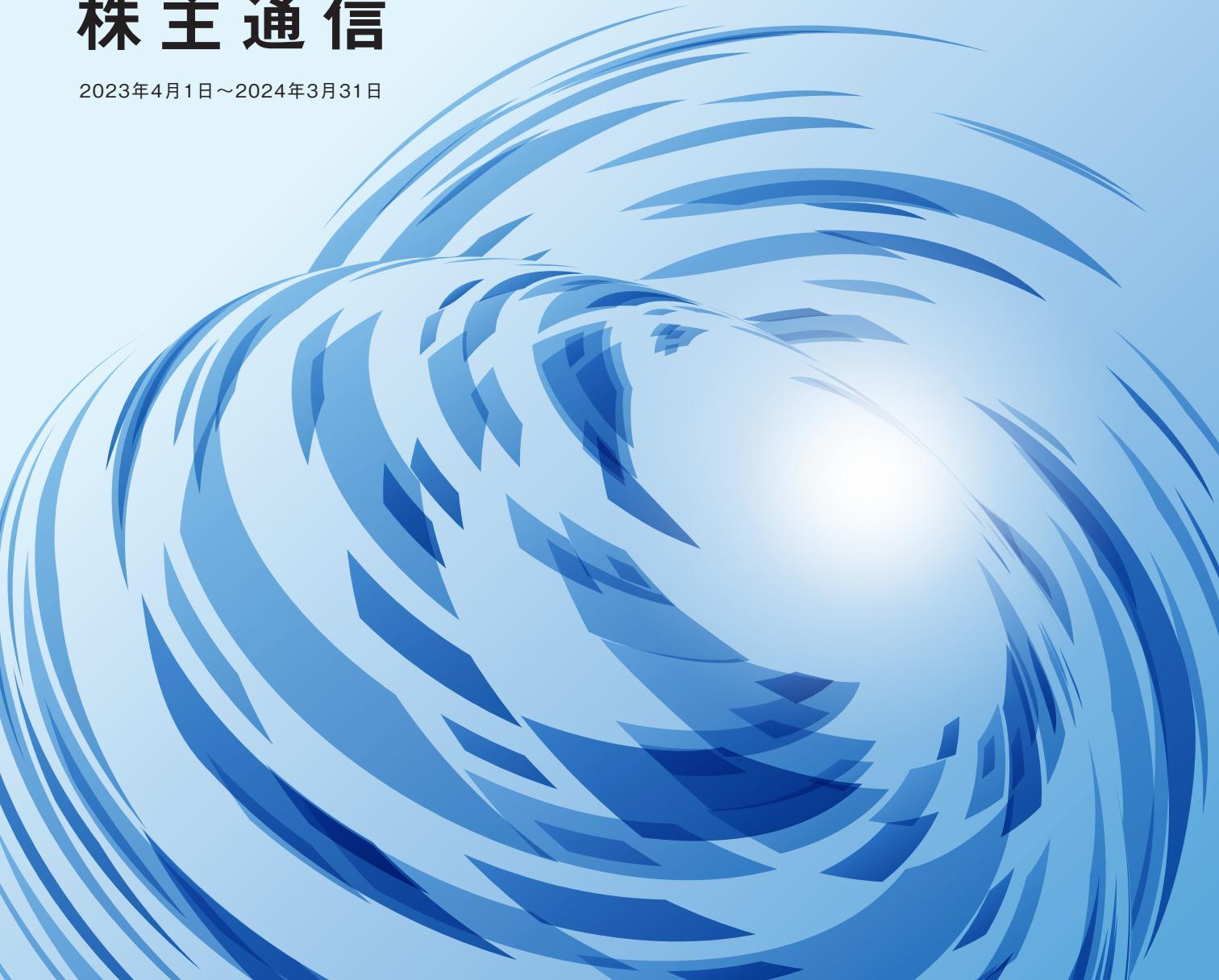


株式会社 小林洋行

証券コード：8742

第77期 株主通信

2023年4月1日～2024年3月31日



株主の皆様へ TOP MESSAGE

株主の皆様には、平素より、当社の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。能登半島地震により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

ここに「第77期 株主通信」をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

第77期は、欧米を中心とした物価高と金融引き締めが経済の失速に繋がる懸念や、ロシアによる軍事侵攻が長引くなかでの中東情勢の緊迫化等、先行き不透明な状況が続きました。IT技術の進展、人々の行動様式の変化、また2023年5月には新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行してからは観光客が大幅に増え、社会経済活動が活発化しました。

2024年2月に終値でバブル期の高値を更新した日経平均株価は、年度での上げ幅が過去最大の1万2,327円となりました。3月末には東京外国為替市場で円相場は、円安・ドル高が一時34年ぶりの水準まで進みました。商品先物市場では、大阪取引所に上場する金先物が最高値を更新し、1年間の上昇率は3割に達しました。

当社グループは、投資・金融サービス業（商品先物取引、くりっく365・くりっく株365等）、生活・環境事業（広告用電設資材卸売業、LED照明等の販売、生命保険・損害保険の募集等）、スポーツ施設提供業（ゴルフ場関連事業）、不動産業（不動産賃貸業、宅地建物取引業）、インターネット広告業（SEO対策、サイト制作、広告運用代行等）を営む各社より構成されております。

第77期の連結経営成績は、前期を上回り営業利益 305 百万円、経常利益 365 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益 370 百万円となりました。

今後も厳しい環境が続くなかでセグメントごとの有事におけるリスクヘッジを加味しながら、経営資源の適切な配分に努め、安定した経営体制の確立に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援とご理解を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2024年6月
代表取締役社長 細金 成光

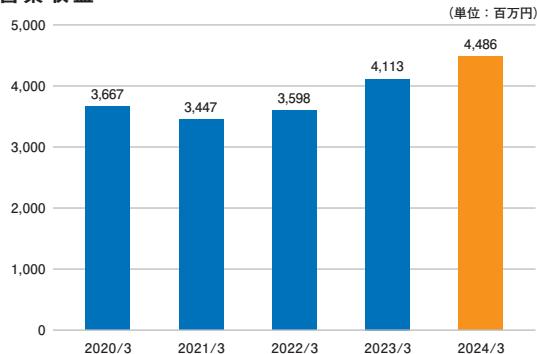
業績予想について

当社グループの主たる事業である投資・金融サービス業の業績は、商品市況、株式市況、為替相場等の変動に大きな影響を受ける傾向があり、業績を予測することが困難であるため開示しておりません。したがって、当社では四半期及び通期の業績につきましては、その概略がまとも次第、速報値等の公表を速やかに実施する方針です。

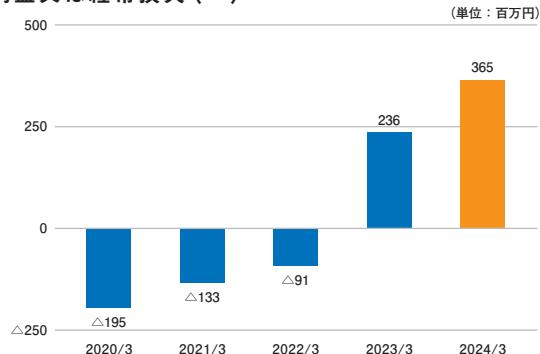
また、配当につきましては、通期連結業績の推移を踏まえて検討し、公表が可能となった時点で速やかにお知らせする予定です。

連結業績の推移 Highlight

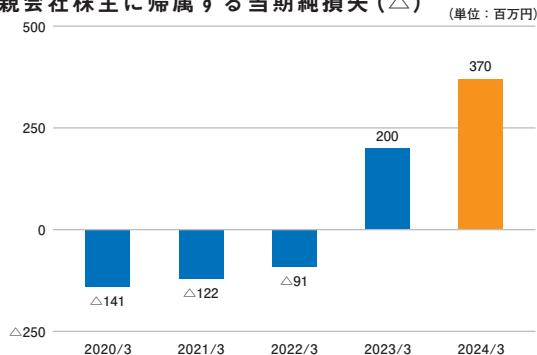
営業収益



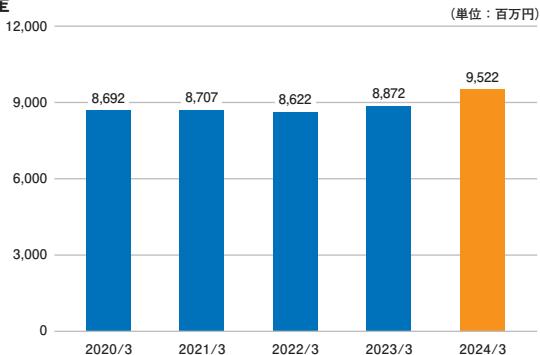
経常利益又は経常損失 (△)



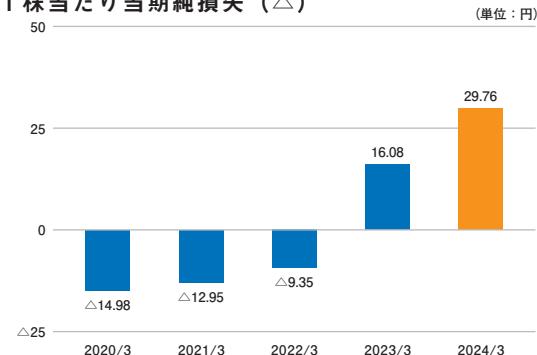
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)



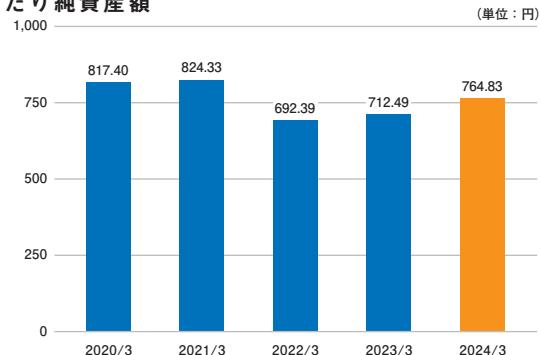
純資産



1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失 (△)



1株当たり純資産額



連結財務諸表

●連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

区 分	当 期 (2024年3月31日現在)	前 期 (2023年3月31日現在)
資 産 の 部		
流 動 資 産	12,254	11,306
現金及び預金	2,891	2,963
保管有価証券	226	220
委託者先物取引差金	106	565
差入保証金	7,619	6,270
預託金	48	48
その他の現金	1,363	1,239
貸倒引当金	△ 0	△ 0
固 定 資 産	6,215	5,655
有形固定資産	3,921	3,845
無形固定資産	126	55
投資その他の資産	2,166	1,754
資 産 合 計	18,470	16,961
負 債 の 部		
流 動 負 債	8,271	7,551
預り証拠金	2,789	2,751
受入保証金	4,837	4,227
その他の負債	644	572
固 定 負 債	659	521
特別法上の準備金	16	15
負 債 合 計	8,947	8,089
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	8,935	8,609
資本剰余金	2,000	2,000
利益剰余金	1,394	1,394
自己株式	5,612	5,285
その他包括利益累計額	△ 70	△ 70
その他有価証券評価差額金	586	262
純 資 産 合 計	9,522	8,872
負 債 ・ 純 資 産 合 計	18,470	16,961

●連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

区 分	当 期 (2023年4月1日から 2024年3月31日まで)	前 期 (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)
営 業 収 益	4,486	4,113
営 業 総 利 益	3,073	2,800
営 業 費 用	2,768	2,621
営 業 利 益	305	178
営 業 外 収 益	60	59
営 業 外 費 用	0	1
経 常 利 益	365	236
特 別 利 益	37	23
特 別 損 失	12	1
税金等調整前当期純利益	390	259
法人税、住民税及び事業税	84	56
法人税等調整額	△ 64	2
当 期 純 利 益	370	200
親会社株主に帰属する当期純利益	370	200

●連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

区 分	当 期 (2023年4月1日から 2024年3月31日まで)	前 期 (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	240	270
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 342	△ 250
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	36	△ 71
IV. 現金及び現金同等物の増減額	△ 65	△ 51
V. 現金及び現金同等物の期首残高	1,764	1,815
VI. 現金及び現金同等物の期末残高	1,698	1,764

●業績の概要

2024年3月期において、投資・金融サービス業は、中途営業社員の継続採用や積極的なイベント出展、電話営業等を通じて新規営業を強化した結果、預かり資産や口座件数がほぼ計画通りに増加し、また、CXやFXを中心に相場変動の大きい主力商品の取引が拡大したことで、年間を通じて好調な業績を維持することができました。その結果、金融商品取引の受取手数料は1,391百万円、商品先物取引の受取手数料は535百万円となったため、投資・金融サービス業の受取手数料は1,927百万円となりました。

生活・環境事業において、保険事業のうち生保は、通達改正による厳しい営業環境が続くなか、保障を主たる目的とした変額保険の法人・個人提案に注力し、大口法人契約を獲得することなどにより業績を伸展させることができました。しかし、損保については、既存顧客の更改率の維持に努めたものの、保険会社の火災保険に関する引受規制の影響により、新規法人契約の獲得が厳しくなったことで契約が伸びず、全体では計画を若干下回る業績となりました。その結果、募集手数料は305百万円となりました。また、広告用電設資材卸売業では、売上高414百万円となり、LED照明等の販売事業の売上206百万円などを加えた、生活・環境事業の営業収益は925百万円となりました。

スポーツ施設提供業において、当社が所有するゴルフ場（ゴルフリンクスカントリークラブ）では、記録的猛暑の影響を受けた8月は、来場者数、売上ともに大きく落ちましたが、例年集客に苦戦する第4四半期は、暖冬の影響や天候にも恵まれたため、来場者数は前年同期比で増加し、売上も好調に推移しました。また、テレビ撮影やSNSなどを通じてゴルフ場が紹介されると、その反響は大きく、来場者数の増加に繋がりました。その結果、売上高は474百万円となりました。

不動産業において、不動産賃貸では、当社グループが所有する賃貸用マンションは、物件の設備更新や維持管理に注力し、入居率の向上を目指しました。ビジネスホテルにおいては、水際対策が終了した後は、コロナ禍の反動や不安の進行がインバウンド需要の急回復に繋がりを、稼働率や宿泊単価は高水準で推移しました。また、不動産売買では、一部販売活動が長期化している物件があるものの、その他大半の販売用不動産の売却が順調に進み、市場環境などにより一部物件は計画を超える価格で販売することができました。仕入れにつきましては、リフォーム費用も含めた価格の高騰という厳しい環境のなか、仕入ルートの拡大を図りながら、慎重に物件を選別して購入を進めてまいりました。その結果、売上高は751百万円となりました。

インターネット広告業においては、動画広告需要の高まりやデジタルプロモーション市場の拡大など好調な事業環境が続くなか、アフィリエイト広告の運用代行やテレビコマースの受注が好調となり、業績の向上に繋がりました。その結果、売上高は361百万円となりました。

これらの結果、営業収益は4,486百万円、営業総利益は3,073百万円となりました。一方、営業費用は2,768百万円と増加しましたが、営業利益は305百万円、経常利益は365百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は370百万円となりました。

Topics

投資・金融サービス業



FUJITOMI

フジトミ証券株式会社

FX・株価指数・商品取引なら、「フジトミ証券」で



取引所FXの「くりっく365」と取引所株価指数証拠金取引の「くりっく株365」、商品先物取引をオンライン取引とコンサルタント（対面）取引で取り扱っております。取引所デリバティブ取引に特化した投資助言サービスも行っています。投資初心者から経験豊富な上級者までご満足いただける取引ツールと質の高い情報サービスを是非一度ご体感ください。

※「くりっく365」は、株式会社東京金融取引所の登録商標であり、同取引所が上場している取引所為替証拠金取引の愛称です。

※「くりっく株365」は、株式会社東京金融取引所の登録商標であり、同取引所が上場している取引所株価指数証拠金取引の愛称です。

資料請求・口座開設
セミナー申し込みはこちら



くりっく株365/くりっく365

商品先物取引オンライン

TEL 0120-15-2413

東京TEL 0120-365-686 大阪TEL 0120-365-605

商品先物取引コンサルティング TEL 0120-241-337

生活・環境事業



FUJITOMI

フジトミ証券株式会社

豊富な商品ラインナップより、
お客様のニーズに応える保険商品をご提案します。

個々のお客様の不安や心配、計画や希望をお伺いして問題点を整理し、ご家族のライフプランから法人のリスクヘッジまで、保険を使った最適な解決策をご一緒に考えます。



本社保険事業部 TEL 0120-27-2413 福岡営業所 TEL 0120-60-2960 熊本営業所 TEL 096-288-7162



三新電業社

広告用電設資材総合卸・LED照明環境の

総合プロデュースを通じて、快適な視空間を社会に提供します。

1975年の創業以来、多くのお客様に支えられ、数々の広告用電設資材のご提供を手がけてまいりました。2015年3月に、株式会社小林洋行の連結子会社となり、新たに小林洋行グループの一員として、従来の広告用電設資材総合卸に加え、省エネルギー対策や快適な視空間の確保のためのLED照明のご提案を展開しております。

本社 TEL 03-5999-3434 (代)
FAX 03-5999-3477

日本橋オフィス TEL 03-3669-7762
FAX 03-3669-3375

スポーツ施設提供業

(運営)

株式会社日本ゴルフ倶楽部

エバーグリーンの広大なステージ。
ここにはプレーヤーの心を満たすすべてがある。
シックな佇まいのクラブハウスは寛ぎのひとときを、
ある時は豪快に、ある時は贅沢に満たします。
フェアウェイ・ティーグラウンドに
寒地型芝草（ペレニアルグラス）をオーバーシーティングして、
年間を通じて鮮やかな緑の芝生でプレーができます。



ゴールドクロス C.C.

千葉県長生郡長南町市野々575
TEL : 0470-82-5211
<http://www.goldencrosscc.com/>

年間を通じてフェアウェイが美しい緑の絨毯
圏央道市原鶴舞ICより約7分。「ゴールドンクロスカントリークラブ」



インターネット広告業

株式会社小林洋行コミュニケーションズ

集客力を高めるためのホームページ制作や、デザイン変更のご提案をいたします。
また、より効果的な広告運用のご提案等も行ってまいります。
お気軽にお問合せください。



東京本社 TEL : 03-3669-4282

不動産業

多様なアプローチから不動産活用を行っております。

当社グループでは、所有する不動産を賃貸し安定した収益を確保しております。
また、中長期的な安定収益の確保を目的とした賃貸物件等の取得、
及び、短期的な収益の獲得案件にバランス良く投資してまいります。

- ▶ 2013年1月～ ビジネスホテル（相鉄フレッサイン日本橋人形町）
- ▶ 2014年3月～ 賃貸マンション（ロイヤルコート日本橋人形町）
- ▶ 2015年3月～ 賃貸マンション（エリートタウン日本橋）

相鉄フレッサイン日本橋人形町
東京都中央区日本橋蛸殻町1-15-4
TEL : 03-5695-0203



株式の状況

2024年3月31日現在

会社概要

- 株式数 発行可能株式総数 27,000,000株
発行済株式の総数 12,554,379株
- 株主数 22,646名
- 大株主（上位10名）

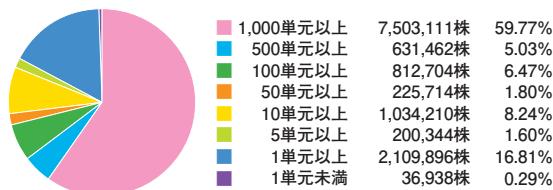
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社東京洋行	3,107	24.96
株式会社りそな銀行	600	4.82
共和証券株式会社	508	4.08
細金英光	390	3.13
内藤征吾	351	2.82
細金成光	317	2.54
トウヨウセキュリティーズアジアリミテッド	309	2.48
石崎 實	225	1.80
ガバナンス・パートナーズ投資事業有限責任組合	224	1.80
特定有価証券信託受託者株式会社SMB C信託銀行	196	1.58

- (注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示し、また、持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式（104,297株）を控除して計算しております。

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況（1単元 100株）



商号 株式会社 小林洋行
英訳名 KOBAYASHI YOKO CO.,LTD.
本社 〒103-0014
東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目15番7号

設立 1949年（昭和24年）3月26日

資本金 20億円

主な事業内容 ・グループ会社の経営管理及びそれに付帯する業務
・不動産賃貸業

役員 代表取締役社長 細金成光
取締役 渡辺 宏
取締役 瀧澤 克行
取締役 細金英光
取締役（監査等委員） 加藤 周二
取締役（監査等委員） 西田 章
取締役（監査等委員） 前田 哲哉

(注) 取締役（監査等委員）加藤周二氏、西田 章氏及び前田哲哉氏は、社外取締役であります。

連結従業員数 138名（2024年3月31日現在）

主要取引銀行 株式会社りそな銀行・株式会社みずほ銀行・三井住友信託銀行株式会社

小林洋行グループ フジトミ証券株式会社

(連結子会社) 株式会社三新電業社
株式会社日本ゴルフ倶楽部
(ゴールデンクロスカントリークラブ運営)
株式会社小林洋行コミュニケーションズ

株主メモ

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月

基準日

定時株主総会については3月31日といたします。
その他必要があるときはあらかじめ公告いたします。

剰余金の配当の基準日

3月31日及び中間配当金を支払うときは9月30日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問(FAQ) サイトでご確認いただけます。

https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal



▲こちらから
アクセス

株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵送物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

同取次窓口

三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

【特別口座にて当社株式をご所有の株主様】

特別口座にて当社株式をご所有の株主様にかかる住所変更等のお届出につきましては、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社までご連絡ください。

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告の掲載

電子公告により、当社ホームページ
(<https://www.kobayashiyoko.com/>) に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株式会社 小林洋行

〒103-0014

東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目15番7号

電話 (03) 3669-4111 (代表)

<https://www.kobayashiyoko.com/>

株主優待制度

毎年3月31日^{注)}現在の株主様に対して、株主優待としておこめ券を次のとおり贈呈します。

所有株数 100株以上 1,000株未満 おこめ券 2枚
所有株数 1,000株以上 おこめ券 5枚

おこめ券は、全国のお米取扱店・有名百貨店・スーパー・コンビニなどをご利用いただけます。また、おこめ券1枚で440円分のお米とお引き換えでき、有効期限はありません。



注) 1年以上継続保有の優待制度：2021年3月末日を基準日とする株主優待制度から毎年3月末日を基準日として、3月末日及び9月末日の株主名簿に同一株主番号で3回以上連続して記載または記録されていることといたします。株主優待は「定時株主総会決議ご通知」(6月末)に同封し発送させていただきます。

